

PADI Discover Scuba® Diving 参加者声明書

以下の文章をよくお読みください。

この声明書には病歴書、免責および危険引受けの同意書、非代理人の公開および確認の同意書、および Discover Scuba Diving 知識と安全の復習が含まれており、スクーバダイビングの潜在的な危険性の一部ならびに PADI Discover Scuba Diving プログラム参加中に必要とされる行為についての情報が記載されています。未成年の方は、親権者または保護者がこのガイドを読み、裏面に署名をすることが必要です。

また、スクーバダイビング中の呼吸法や圧平衡に関する重要な安全上のルールについて、PADI Professional から学ぶ必要があります。適切な監督と指示を受けずにスクーバダイビングをしたり、スクーバ器材を使用すると、重大な怪我や死亡事故につながる可能性があります。器材の使用については、資格のあるインストラクターから直接指導監督を受けることが必要です。



PADI病歴書

スクーバダイビングは刺激的で努力を要するアクティビティです。スクーバダイビングは、過度の肥満や、健康不良な状態にある人にはできません。ダイビングは非常に体力を消耗する場合があります。特に呼吸器系や循環器系に問題がないことが必要です。また、体内の空気が貯まっている部位もすべて正常で健康な状態にある必要があります。心臓疾患、風邪や鼻づまり、てんかん、ぜんそく、重大な健康上の問題がある人、または、アルコールや薬物の影響を受けている人はダイビングをするべきではありません。服薬中の人は、プログラム参加前に医師に相談してください。

病歴書の目的は、レクリエーション・スクーバダイビング活動に参加する前に、医師による診察が必要かどうかを見極めることにあります。アンケートの質問に対して「はい」の回答をしたからといって、必ずしもダイビングが許されないということではありません。「はい」と回答をされた場合は、ダイビング中のあなたの安全に影響を与える可能性のある既往症をお持ちだということを意味するため、医師のアドバイスを受ける必要があります。

これまでと現在のあなたの健康状態について、以下の質問に「はい」もしくは「いいえ」でお答えください。どちらに答えればよいのかわからない場合は「はい」とお答えください。該当する項目がある場合は、スクーバダイビングを始める前に医師からのアドバイスを受けることが要求されます。PADI Medical Statement、および医師からの診察を受ける際に必要な PADI Guidelines for Recreational Scuba Diver's Physical Examination は、PADI Professional から提供されます。

- _____ 現在、中耳炎または外耳炎にかかっていますか？
- _____ 今までに耳の病気になったり、難聴や身体のバランスがとれないといった問題（めまいやふらつき）を経験したことがありますか？
- _____ 耳や副鼻腔の手術を受けたことがありますか？
- _____ 現在、風邪をひいていたり、鼻づまりがあったり、副鼻腔炎や気管支炎にかかっていますか？
- _____ 今までに呼吸器系の病気、重度の花粉症やアレルギー、肺の病気にかかったことがありますか？
- _____ 今までに気胸になったことがありますか？また、胸部の手術を受けたことがありますか？
- _____ 現在、活動性の喘息がありますか？また、肺気腫や結核になったことがありますか？
- _____ 現在、運動能力や精神面に影響が起り得る薬を服用していますか？
- _____ 普段の行動に影響を与えるような精神・心理上の問題、または神経系の障害がありますか？
- _____ 現在、妊娠しているか、あるいはその可能性がありますか？
- _____ 結腸（大腸）切除の手術を受けたことがありますか？
- _____ 心臓病や心臓発作の病歴がありますか？また、心臓や血管系の手術をしたことがありますか？
- _____ 今までに高血圧症または狭心症になったことがありますか？また、現在血圧の治療薬を服用していますか？
- _____ 45歳以上の方にお聞きします。家系に心臓発作や脳卒中を患った人がいますか？
- _____ 出血性の病気、またはその他の血液疾患の病歴がありますか？
- _____ 糖尿病になったことがありますか？
- _____ 発作、意識喪失または失神、けいれんまたはてんかんの病歴がありますか？また、これらの予防薬を服用していますか？
- _____ ケガ、骨折、手術などで、背中、腕や足に後遺症が残っていますか？
- _____ 閉所恐怖症、広場恐怖症、あるいはパニック発作の病歴がありますか？

危険の告知書(免責同意書)及び、家族の同意書

スクーバ・ダイビング(スノーケリングを含む)は、特殊な環境で行う為、予期せぬ危険が起こりうる場合がございます。安全管理には万全を尽くしますが、何らかのトラブルが発生する事もございます。NiceDivePhuket.Co., Ltdのプログラムは、ボートで1時間以上移動した場所での開催となります為、緊急時の対応が限られてしまう状況である事。

また、一般的に年齢とともに健康上のリスクが高くなる事をご理解いただき、ご参加にあたり、下記の内容について、ご本人ならびご家族の承諾をお願い致します。承諾がない場合はダイビングにはご参加いただけません。

私 _____ (参加者)はダイビングに付随する危険性について十分に理解しており、圧縮空気を使用するダイビングでは再圧チャンバーでの治療を必要とする傷害の可能性も理解しています。

また、このプログラムは、再圧チャンバーや医療施設から遠い環境の海や湖等の水域で実施される場合があることを理解したうえで、このプログラムを受けることに同意します。このプログラムに参加した結果として、私に関連する環境及び条件等によって、私自身に起こりうる傷害その他の損害が生じないように注意を払います。また、健康管理など細心の注意をはらって参加します。

私はまた、スクーバ・ダイビング(スノーケリングを含む)が肉体的に激しい活動であることを理解しています。また心臓発作、パニック状態、水死その他による傷害を受けた場合には、私とその傷害の危険を引受け、免責当事者にその責任を負わせないことをここに了承します。

私は、このプログラムを提供する NiceDivePhuket.Co., Ltd 又はスタッフに対して、私がスタッフの指示に従わなかったこと、さらに私の重大な過失によって私が被った損害については、スタッフに過失が存した場合においても、その賠償責任を問わないことを約束します。私は、この危険の告知書(免責同意書)が単に注意書きにとどまるものではないことを理解し、家族の同意書の内容をすべて確認して署名します。また私の家族も内容をすべて確認して署名します。

_____ 年 月 日
参加者署名

※以下は60歳以上及び未成年の方のみご記入ください。

_____ 年 月 日
家族の署名

家族の連絡先 住所: _____

電話番号: _____ 続柄: _____

注意して読んだ後にご署名ください。

この声明書は、スキン・ダイビング、スクーバ・ダイビングを安全に行うために必要なことを知っていただくためのものです。これらを再確認し、了解していただくためにまとめられたものであり、ダイビングをするにあたっての快適度や安全性を増していただくために作成されています。

私 _____（氏名を楷書で）は、ダイバーとして以下の事項を守るべきであることを了解しています。

1. 精神的にも身体的にもダイビングに適したよい体調を維持します。ダイビングに影響を与えるアルコールや薬物は控えます。つねに十分なスキルレベルを維持し、継続教育を通じてスキルレベルを高めます。ある期間ダイビングから遠ざかっていたときは、安全なコンディションのもとでスキルの復習をしてコースで使用したテキストを読み直して重要なダイビングに関する知識をリフレッシュします。
2. 私が潜るダイビング・ポイントをよく知ります。初めて潜る場合やダイビング・ポイントの情報が不足している場合は、知識豊かな現地スタッフなどから正式なオリエンテーションを受けます。私が経験したことのある環境よりもコンディションが悪い場合には、ダイビングを延期するか、あるいは良いコンディションのダイビング・ポイントを代替地として選ぶようにします。私の受けたトレーニングや経験にあったダイビング活動にのみ参加するようにします。専門のトレーニングを受けていない場合は、ケーブあるいはテクニカル・ダイビング活動に参加しません。
3. よく手入れされていて、使い慣れている器材を使用します。器材は各ダイビング前に正しく調整し、きちんと作動するかチェックします。スクーバ・ダイビングを行うときは必ずBCDと残圧計を使用します。ダイビングをするときは中圧インフレーター（パワー・インフレーター）付きのBCD、残圧計、ダイブ・プランニング／モニタリング器材（使い方の講習を受けたダイブ・コンピューターやRDP／テーブル）を使用します。認定を受けていないダイバーに私の器材を使用させません。
4. ブリーフィングや注意事項、その他ダイビングに関する説明や指示をよく聞いて、私のダイビング活動を監督する人のアドバイスに敬意をはらいます。また、特別なダイビング活動への参加、不慣れた地域でのダイビング、6カ月以上ダイビングをしていない場合などは追加のトレーニングが必要であることを認識しています。
5. ダイビング中は、最初から最後までバディ・システムを守ります。水中での連絡方法や万一離れ離れになったときに再集合するための方法、緊急手順などのダイブプランをバディと一緒に計画します。
6. ダイブ・プランニングに熟達します（ダイブ・コンピューター、RDP／テーブルで）。すべてのダイビングを安全マージンのあるノンストップのダイビングで行ないます。水中では水深や時間をモニターする計器を使用します。ダイビングの最大深度は、私のトレーニング・レベルと経験の範囲内に制限します。1分間18メートルより遅い速度で浮上します。S.A.F.E.ダイバーになること — **Slowly Ascend From Every dive**（すべてのダイビングでゆっくりと浮上）を心がけます。水深5メートルで3分間あるいは用心してさらに長く安全停止をします。
7. 正しい浮力を維持します。BCDに空気を入れなくても中性浮力になるように、水面でウエイト調整をします。水中では中性浮力を保ち、水面移動するときや水面で休息するときにはプラス浮力を確保します。ウエイトはいつでも捨てられるようにしておき、トラブルのときは浮力を確保します。少なくとも1個の水面用シグナル（シグナルチューブ、ホイッスル、ミラーなど）を携帯します。
8. ダイビング中は正しい呼吸を維持します。圧縮空気を吸っているときには絶対に息ごらえやスキップ呼吸をしません。また、スキン・ダイビングなどの息ごらえダイビングでは、過剰なハイパーベンチレーションを避けます。水面、水中を問わず、水中にいるときは動きすぎて疲れてしまわないようにし、私の能力の限界内でダイビングします。
9. 可能な限り、ボートやフロート（浮具）、その他の水面用ステーションを設置して使用します。
10. 各ダイビング・ポイントでの漁業規則や、ダイブ・フラッグの使用など、ダイビングに関する法律や規則やルールを守ります。

私は、上記内容をよく読み、不明な点に対しては説明を受け、納得しました。私は、これらの実施要項の重要性と目的を理解しました。これらを守ることが私自身の安全と楽しみのために必要であることを理解し、ダイビングするにあたって、これらの実施要項を守らない場合には私自身を危険な状況においてしまう可能性があることを認識しています。

参加者署名

日付

未成年の場合、保護者の署名（親権者あるいは後見人）

日付